

# 愛媛県議会議員選挙 四国中央市選挙区

# 選挙公報

投票日 4月7日(日)  
愛媛県選挙管理委員会

なにより地元重視です。  
たった一度の出合いを大切にしたいです。

### もりたか康行の汗をかきべき5つの柱

- 安全** 南海トラフ大地震が近いとの声もあり備えを急ぎます。県立学校の耐震化が終了。橋や海岸などの整備、福祉避難所の充実、自主防災の振興に努めます。
- 安心** 人口減少社会対策の一環として、県の婚活プロジェクトを応援し、愛媛の明るい長寿社会の幸せづくりを目指します。
- 友好** ライフワークになった韓国・ロシア・インド等の市民交流にも引き続き取り組みます。
- 保守** 日本人の素晴らしさを追求し、相撲や空手など武道振興、茶道・華道など芸術文化の発展に努めます。正しい歴史教育、道徳教育の拡大にも努めます。
- 相撲** 大相撲では、片男波親方の指導により、玉鷲関の初優勝もあり、愛媛県相撲連盟会長として、国技である相撲道の発展にも努めます。

#### ■森高康行プロフィール

生まれ:昭和32年(1957年)12月10日  
 経歴:関川小、土居中、土居高、愛知学院大学法学部法律学科卒業。上京し、青少年育成国民会議副会長故末次一郎先生の書生として学び、のちに衆議院議員故藤文生先生、参議院議員村上正邦先生の下で国政を学ぶ。昭和61年2月、土居町議にトップ当選。昭和62年4月、県議に初当選。以来連続5回宇摩郡選挙区より無投票当選。行政合併による新選挙区にて通算8選。その間、平成17年1月第93代議長に就任。議運委員長、文教・農林・環境災害対策特別委員長を歴任。党では県連青年局長、政調会長、総務会長、政審会長など歴任。

#### ■現職 (一部)

自民党県連副会長・愛媛拉致協議連会長  
 愛媛県立土居高校同窓会長  
 愛媛県相撲連盟会長・愛媛県レスリング協会顧問  
 愛媛県青年海外協力隊育てる会副会長  
 茶道裏千家淡文会支部副会長 他



#### 推薦人

愛媛県知事 中村 時広  
 国土大臣 山本 順三  
 参議院議員 井原 巧  
 美しい憲法県民会議 加戸 守  
 後援会長 久門 蕃

生命尊重が政治の究極課題  
 ずっと防災、そして安心・安全。



自由民主党

# もりたか康行

やすゆき

◆選挙戦に臨んで  
 新年度は新元号が定められる節目の年を迎えます。昨年久門後援会長を中心に世話人会を開催し、9度目の立候補が決定され、人生10度目の選挙に挑戦することとなりました。これまでの政治人生に反省することは多くありますが、悔やむ事はありません。そんな政治生活を送れた事は幸せであり、ご支援してくださる方々の賜物です。

◆日本政治の課題と世界  
 「信無くば立たず」との言葉があり、国政の現状がそれに及ばないのではとの声に多く接します。与党には、もっと誠意を示し、国民に語りかける姿勢が欲しいと思います。学生時代から取り組んできた北方領土問題も、民族の悲願として前進することを期待します。

◆中村県政3期目の歩み  
 圧勝して3期目の中村県政が動いております。真に県民の幸せを目指した県政の着実な歩みに取り組みます。

現在、自民党県連改革会議のメンバーに選任され、今後の県連運営を巡る諸問題に答申する役割を与えられており、自民党県連の大同団結を目指して愛媛の政治を安定させる動きを起こしたいと存じます。

◆ふるさとへの課題  
 人口減少社会を迎えて、四国中央市の発展を如何に目指すのか?生まれて、学んで、働いて、老後を安心して過ごせる町をどのようにして創造するのか?ふるさとの課題は山積みしております。皆様方と共に歩み、笑い、汗を流せる、ふるさと四国中央を目指したいと存じます。何卒、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

◆選挙戦に臨んで  
 新年度は新元号が定められる節目の年を迎えます。昨年久門後援会長を中心に世話人会を開催し、9度目の立候補が決定され、人生10度目の選挙に挑戦することとなりました。これまでの政治人生に反省することは多くありますが、悔やむ事はありません。そんな政治生活を送れた事は幸せであり、ご支援してくださる方々の賜物です。

◆日本政治の課題と世界  
 「信無くば立たず」との言葉があり、国政の現状がそれに及ばないのではとの声に多く接します。与党には、もっと誠意を示し、国民に語りかける姿勢が欲しいと思います。学生時代から取り組んできた北方領土問題も、民族の悲願として前進することを期待します。

◆中村県政3期目の歩み  
 圧勝して3期目の中村県政が動いております。真に県民の幸せを目指した県政の着実な歩みに取り組みます。

現在、自民党県連改革会議のメンバーに選任され、今後の県連運営を巡る諸問題に答申する役割を与えられており、自民党県連の大同団結を目指して愛媛の政治を安定させる動きを起こしたいと存じます。

◆ふるさとへの課題  
 人口減少社会を迎えて、四国中央市の発展を如何に目指すのか?生まれて、学んで、働いて、老後を安心して過ごせる町をどのようにして創造するのか?ふるさとの課題は山積みしております。皆様方と共に歩み、笑い、汗を流せる、ふるさと四国中央を目指したいと存じます。何卒、皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 鈴木としひろの 政治の原点

1. 清潔な政治
2. 公平・公正な政治
3. わかりやすい政治
4. 共に歩む政治
5. 今を考え、未来を考える政治

### 鈴木としひろの 政策

- 1、豪雨災害からの復旧・復興の実現
- 1、地元経済の活性化 (ガントリークレーンの完成・三島、川之江港の港湾整備等)
- 1、防災・減災対策(港湾・海岸・河川・砂防等整備)
- 1、地域医療の充実
- 1、高齢者・障がい者福祉の充実
- 1、子育て支援(人口減少対策)
- 1、学校教育の充実
- 1、地方創生の実現
- 1、えひめさんさん物語の成功
- 1、四国新幹線の実現 他 地域課題の解決

#### 推薦人

愛媛県知事	中村 時広
国土大臣	山本 順三
参議院議員	井原 巧
四国中央市長	篠原 実

# 決意と行動

## 愛媛を日本一の県に! 四国中央市を日本一の市に!

皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援ご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。

まずはじめに、昨年の7月に愛媛県下に甚大な被害をもたらした西日本豪雨災害に際し、発災直後より、人的・物的ご支援並びに復旧・復興にお力添えを頂いておりますこと心よりお礼申し上げます。

さて、平成30年3月19日に皆様のお陰で愛媛県議会106代議長に就任させて頂きました。微力ながら全力で議長としての責務をはたさせて頂いております。

この間、愛媛県下の各方面へお伺いし、いろいろな方、各種団体、企業の方からお話を聞きました。また、県外、国外等など公務を通じさまざまな勉強をさせて頂きました。愛媛やわが町・四国中央市の素晴らしさや魅力を知る反面、県民・市民の今おかれている厳しい現状も知ることができました。

私も、愛媛県議会議員を15年間させて頂いております。今後、この県議会議員や議長経験を生かし、県政に役立てたいと思っております。「愛媛を日本一の県に!四国中央市を日本一の市に!」この大きな目標に向かって決意と行動で精一杯取り組んでまいります。

みなさまが「笑顔で暮らせる、えひめづくり」、これが私の永遠のテーマです。このテーマの実現に向かって邁進してまいります。

**とことん現場主義!  
とことん発言主義!**



すずき

# 鈴木としひろ

無所属 59歳

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版で縮小し印刷したものです。なお、掲載順序は、くじで定めたものであり、立候補の届出順ではありません。)

愛媛県議会議員選挙  
四国中央市選挙区

# 選挙公報

投票日 4月7日 日  
愛媛県選挙管理委員会

赤ちゃんから、おじいちゃん、おばあちゃんまで安心して生活できる「まち」創りを応援します！

## 地域即戦力



うだか英治 えいじ

### 子育て

全国で少子高齢化が進む中、安心してのびのび子育てができる「まち」をつくる事が大切と考えて、いろいろな発想でイベント企画や催物のお手伝いをしてきました。

自分のこどもが小さな時だけ真剣に子育てを考えるのではなく、家族や地域の大人が、皆んなで子育てを応援できる地域を作ることが今、急務と考えています。おかあさん、おとうさん、ガンバレ！

- 1958年(昭和33年) 四国中央市(川之江町) 生まれ、おうし産
- 1977年(昭和52年) 川之江高等学校卒業
- 1981年(昭和56年) 東洋美術学校卒業→(株)パンダイ入社
- 1988年(昭和63年) 川之江郷郷一様(カーテン・ぶとんうだか)を継ぐ
- 1998年(平成10年) 川之江市議会議員 初当選
- 2004年(平成16年) 平成の大合併により四国中央市議会議員となる
- 2013年(平成25年) 四国中央市議会議長 就任
- 2015年(平成27年) 愛媛県議会議員となる
- 2018年(平成30年) 愛媛県議会環境保健福祉委員会委員長 就任

### 紙のまち

全国でも特出している紙専門のまち「四国中央市」は「製紙」を中心に「紙加工」「印刷」紙の「情報発信」や「研究」が連携されている「紙の総合都市」です。他の地域にはない紙のクラスターシティを応援する事が、この「まち」の足腰を強くすることになります。無限の可能性と発信力を秘める「紙のまち」を応援します。

### くらしやすいまちづくり

生まれたばかりの赤ちゃんから超高齢のお年寄りまでの皆さんがのびのび生活できる。が理想のまちづくり！平成の合併が実施され、3000の全国の市町村が1,800

に数を減らしましたが、15年経った今、元気に力強く活動している自治体の数は限られています。幸な事に四国中央市は、「地場産業」も活発で「地の利」も良く、これからの日本の中で生き残れる自治体としての要素が強くあります。地域に仕事がある事は、仕事をしたい人々が地元に残れるという事になり、その仕事の多くが安定しているのなら、そこに就く人々の生活安定につながります。「風ふけば桶屋がもうかる」ような説明ですが、豊かでくらしやすいまちづくりと活発な地場産業は切っても切れない関係だと思えます。自立した地方の「まち」がこれからの日本の中で生き残れる「まち」になると信じて活動をつげます。

## 愛媛の端から四国を変える！

### 民主主義をあなたと一緒に進めましょう！

1. 観光・インバウンド・商品開発など地域資源を活かし未来へと続く故郷づくり。
2. 格差をなくし、どんな境遇の人でも幸せに暮らせる社会の実現。
3. 未来に繋げる人づくり & 最先端の教育
4. 女性の声を活かしたまちづくり
5. みんなの声を活かしたまちづくり
6. 再生可能エネルギーに転換（原発反対）
7. 農業、漁業、林業の再生

大橋まきとつくる新しいまちづくり

● 持続可能な社会をあなたと一緒に創りましょう  
● 草の根の民主主義を前にすすめてみましょう



立憲民主党  
大橋まき

- ★ 夢の輝く四国中央市にします★
- ★ 女性や子どもたちが輝くまちにします。
- ★ 医療や福祉が充実した輝くまちにします。
- ★ まちの歴史や文化を大切に輝くまちにします。

プロフィール

- 名前/大橋麻輝 ● 昭和43年9月5日生まれ O型 ● 大阪デザイナー専門学校卒業
- BS21プライダルサービスにて司会者として活動 現在はフリーアナウンサーとして活動中
- 愛媛を中心に日本の古代史を研究中 ● せとうちDMO(瀬戸内ファンター)にてフォトライターとして活動
- 女性目線で地域を元気にしたいとの思いから、特定非営利活動法人tsunaguプロジェクトを設立。全国からカメラ女子を募集した「しまなみカメラ女子旅」を開催。
- 2018年国土交通省「水の里の旅コンテスト」全国2位の優秀賞受賞!

「大橋まきさんには  
あなたの力が必要です」

立憲民主党 The Constitutional Democratic Party of Japan 代表 枝野幸男